

## 箕面駅

ふちんかん

たねさんの「箕面線あれこれ」も合わせてお読みください。

### 滝道

言わずと知れた明治の森・箕面国定公園の中心ともいえる箕面大滝への遊歩道。箕面川の流れを辿ってゆっくり歩いて1時間の散策である。

今回の取材では滝道の入り口付近の散策にとどめたが、歩を進めると、宝くじ（富くじ）発祥の地と云われる龍安寺や放蝶温室のある昆虫館などがある。

私的な思い出としては、昔は狭い滝道を観光用の馬車が走っていたこと、そのファンを避けながら歩いたことや、餌付けされたサルが凶暴で、友人がジュースの缶をサルと引っ張り合いの末、威嚇されて取られるという経緯を目の当たりにし、野生生物こわーという記憶がある。

なお、写真のように、この箕面は東海自然歩道の西の起点（正しい起点は箕面大滝の少し上にある政の茶屋）である。ここから東京高尾山まで1734kmの自然歩道が続くのである。

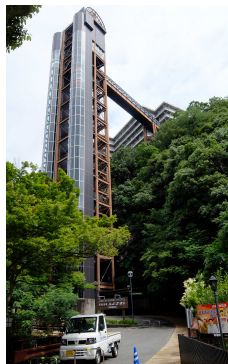


### ケーブルカーと展望エレベーター

滝道を歩いて5分程度で、箕面温泉へ上がる展望エレベーター塔がある。その右には、1993年（平成5年）まで運行されていたケーブルカーの跡地があり、現在は足湯や観光案内所として利用されている。

なおケーブルカーは無料だったが、展望エレベーターは有料（上り100円）である。箕面温泉利用者は無料である。ただ、厳格な集金施設は見あたらない。エレベーターは平野側がガラス張りになっており、展望エレベーターの名は伊達ではない。

私的にはケーブルカー時代に乗った記憶が無い（少なくとも鉄道として意識して乗った記憶が無い）ことが残念である。



# 阪急電鉄 箕面線

## 駅前のパラボラ屋根

箕面駅を降りてすぐの広場にドーム状の構造物がある。これがパラボラ状になっていて、中央部に立って音を出すと、反射してとてもよく返ってくる。屋根に音を増幅するような装置があるわけではないので、聞こえる音は自分が出した音であり、四方八方に飛び散っていく音をすべて集めるとけっこうな量であることに気付かされる。設計の段階で背の高さが焦点になるように設計されているのだろうか。それとも偶然か。



## 駅前の足湯

駅前広場にできた新たな観光スポット。タオル込みで150円。京福嵐山駅と由布院駅とで足湯三姉妹とのこと。

**オススメ足湯**

**足湯三姉妹**

箕面駅「もみしの足湯」は、駅構内に足湯施設のある九州旅客鉄道（由布院駅あし湯）・京福電気鉄道（嵐山温泉「駅の足湯」）と提携し、足湯三姉妹として協力していきます。

<b>現九州 由布院駅 由布院駅あし湯</b>	<b>京福電鉄 嵐山駅 嵐山温泉「駅の足湯」</b>
【営業時間】 9時～19時	【営業時間】 9時～20時
【料金】 大人160円 子供80円 【定休日】 年中無休	【料金】 200円 【定休日】 年中無休

## 郷土資料館

駅前広場からすぐの商業施設の地下にある。ちょっと入り口がダンジョンっぽいが、中に入るといったって普通の資料館である。

展示は縄文時代から現代までの箕面市域の歴史であったり、箕面ゆかりの有名人の紹介であったり、農具・工具などの展示であったり、普通。

ただ箕面有馬電気軌道については、さすがにとっても詳しく解説がされていて、写真や模型もあってより深い理解に結び付いた。



## ミスタードーナツ1号店

アメリカからのれん分けされたのが1971年。創業第1号店が箕面のダイエーの敷地内にあった。その後、ダイエーは閉店し、店舗は無くなったが、現在の位置（創業地より若干南に移動）で復活している。

ちなみに本場のアメリカ・ミスタードーナツは他社に売却され無くなっている。

ついでのトリビアとして、「ミスド」「マクド」と略され仲間であるマクドナルドも1971年に日本法人が設立されている。こちらの1号店は東京・銀座。



箕面駅の項 おわり  
このあと箕面ビールまで歩きます